

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2011	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
新規出版社移行および各種取組による アジアセラミックス学協会との連携ジ ャーナル情報発信力強化		公益社団法人 日本セラミックス協会	会長・有岡 雅行
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Asian Ceramic Societies			

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>発行している学術誌のアクセス数、インパクトファクター(IF)や国外からの投稿数の増加などにより、国際情報発信の取組の成果が裏付けられており、当初計画の達成が見込まれる。</p> <p>しかしながら、科研費補助の終了後の収入計画が現時点で明確ではない。補助金相当分を受取入会金の増加分で補填することを計画しているが、難しいと思われる為、早めの検討が必要かと思う。</p>	